

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学
経営協議会（平成27年度第1回）議事要旨

1. 日 時 平成27年6月24日（水）13:30～15:40
2. 場 所 奈良先端科学技術大学院大学 事務局3階 会議室
3. 出席者 小笠原議長
片岡、横矢、中島、太田、常盤の各学内委員
ガイツツレック、小山、田中、土井、野間口、樋口、宮寫、宮原、矢嶋の各学外委員
出席監事 野口監事
陪席者 尾原、奥田の各部長
西山、寒川、林田、井上、尾形、桑原、樋口、上坂の各課長
4. 配付資料
資料1 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学経営協議会（平成26年度第4回）
議事要旨（案）
資料2-1 第3期中期目標・中期計画（素案）について
資料2-2 中期目標・中期計画（素案）（修正案）
資料2-3 第3期中期目標・中期計画の新旧対照表
資料2-4 中期計画に記載した数値目標の根拠
資料3-1 大学機関別認証評価に係る自己評価書（案）について
資料3-2 大学機関別認証評価 自己評価書（案）
資料3-3 大学機関別認証評価 自己評価書（別添資料）（案）
資料4-1 平成26事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について
資料4-2 平成26事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）
資料4-3 実績報告書に係る作成スケジュール
資料5 学園前職員宿舎跡地の利用計画について
資料6-1 平成26事業年度 財務諸表
資料6-2 平成26事業年度決算の概要について
資料7-1 平成28年度における国立大学法人運営費交付金の重点支援について（抜粋）
資料7-2 奈良先端科学技術大学院大学の機能強化取組構想（案）
資料7-3 平成28年度概算要求の概要
資料8 学長選考会議委員の選出について
資料9 平成27年度 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学 運営体制
資料10 本学の主な動き（平成27年4月～6月）
資料11 国立大学法人における会計監査人の選任について（通知）
資料12 平成27年度外部資金の受入れについて
参考資料 国立大学経営力戦略（概要）
参考資料 奈良先端大の概要と特色

議事に先立ち、議長から学内委員の紹介及び学外委員の自己紹介が行われた。

5. 議 事

（議長代行の指名）

議長から、議長代行に片岡理事を指名したことについて、報告が行われた。

(前回議事要旨の確認)

資料1の前回(平成26年度第4回)の議事要旨(案)について、原案どおり承認された。

(審議事項)

(1) 第3期中期目標・中期計画(素案)について

議長から、資料2-1~4に基づき、第3期中期目標・中期計画(素案)について説明が行われ、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、今後の加除・修正等については学長に一任することとし、役員会での議を経て、6月末日までに文部科学省へ提出することが確認された。

(主な意見等は、次のとおり)

- ・若手教員の流動、育成を円滑に行うためには、年俸制や業績評価に対するインセンティブなどの仕組みを構築することが重要である。
- ・ポストクの就活問題を解消するには、企業・社会が求めるニーズに合った博士課程の社会人コースの充実が必要ではないか。
- ・数値目標については、外部機関による評価基準に捉われるのではなく、研究者1人当たりの比率での評価基準を設けるなど、個々の大学に合った適正な基準での評価が必要ではないか。

(2) 大学機関別認証評価に係る自己評価書(案)について

横矢委員から、資料3-1~3に基づき、大学機関別認証評価に係る自己評価書について説明が行われ、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、今後の加除・修正等については学長に一任することとし、役員会での議を経て、6月末日までに大学評価・学位授与機構へ提出することが確認された。

(3) 平成26事業年度に係る業務の実績に関する報告書(案)について

横矢委員から、資料4-1~3に基づき、平成26事業年度に係る業務の実績に関する報告書について説明が行われ、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、今後の加除・修正等については学長に一任することとし、役員会での議を経て、6月末日までに文部科学省国立大学法人評価委員会へ提出することが確認された。

(4) 学園前職員宿舎跡地の利用計画について

中島委員から、資料5に基づき、学園前職員宿舎跡地の利用計画について説明が行われ、審議の結果、原案どおり承認された。

(5) 平成26年度決算について

中島委員から、資料6-1~2に基づき、平成26年度決算について説明が行われ、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、今後は、役員会での議を経て、6月末までに文部科学省へ提出することが確認された。

(6) 平成28年度概算要求事項について

中島委員から、資料7-1～3に基づき、平成28年度概算要求事項について、これまでの要求方法とは異なり、平成28年度からの第3期中期目標期間における機能強化の取組構想を提案する形で要求する必要があること、これに伴う本学が選択する重点支援の枠組み及びビジョン、戦略等の取組構想の方向性、考え方について説明が行われ、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、今後の具体的要求については学長に一任することとし、役員会での議を経て、文部科学省へ提出することが確認された。

(主な意見等は、次のとおり)

- ・ 本学の強みを生かして特色のある先端科学技術分野で機能強化を図る重点支援とのことだが、産業界との連携においては、共著論文や共同研究の数のみではなく、研究の質の高さを積極的にアピールすることが重要である。

(7) 学長選考会議委員の選出について

議長から、資料8に基づき、学長選考会議規程第3条第1項第1号の学長選考会議委員の選出について説明が行われ、審議の結果、小山、田中、土井、野間口及び矢嶋の委員5名が選出された。

(報告事項)

(1) 平成27年度運営体制について

議長から、資料9に基づき、平成27年度運営体制について報告が行われた。

(2) 本学の主な動きについて (平成27年4月～6月)

議長から、資料10に基づき、平成27年4月から6月までの本学の活動状況等について報告が行われた。

(3) 平成27事業年度会計監査人の選任について

中島委員から、資料11に基づき、本学の会計監査人として新日本有限責任監査法人が選任された旨の報告が行われた。

(4) 平成27年度外部資金の受入れについて

横矢委員から、資料12に基づき、平成27年度外部資金の受入れ状況について報告が行われた。

以 上